※令和４年度以降入学生用

学校番号	２１４

令和５年度　国語科

教科	国語科	科目	現代の国語	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	現代の国語「現代の国語」　（筑摩書房）						
副教材等	新訂版　最新国語便覧（浜島書店） 音訓別重要頻出漢字リアルマスター３３００（尚文出版） LT 現代文（浜島書店）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では、課題に対して、自ら考え、周りの人と協働で考える活動を行います。
・様々な文章を「読む能力」を向上させるとともに、意思を伝えるための「書く能力」をしっかりと身に着けてください。
・家庭学習における課題は定期的に提出してもらいます。最後まであきらめずに取り組みましょう。事業中は板書を書き写すだけでなく、授業のポイントや自身で気づいたこと、クラスメイトの発言した内容などを自発的にメモする習慣をつけましょう。

２　学習の到達目標

(a)　生涯にわたる社会生活に必要な「国語」の知識や技能を身に付けるとともに、日本語に対する理解を深めることができるようにする。
(b)　論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
(c)　言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、主体的に文章に触れ親しむ態度を向上させ、日本語の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な漢字・ことわざ・熟語などの国語について、その特質を理解し適切に使っている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、日本語の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	文章構成をもとに把握し、自分に照らして考えを深める。 ［教材］ 「境目」 「ことばとは何か」 他	a：語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 b[読]：論理展開を把握し、抽象的なことがらをわかりやすく伝えるための技法を読み取る。 c：筆者の主張に対する自分考えを、表現の仕方を工夫して、積極的に書こうとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 レポート	レポート 授業プリント など
	論理的に読み解き、文章の構造・構成を捉える。 ［教材］ 「マルジャーナの知恵」 「兎が自分でつづって語る生活の話」 他	a：語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 b[書]：主題に至る論の構造を把握し、主張に説得力を持たせるための論の展開について考える。 c：自分の意見や考えを論述するために、文章の内容や構成、論理の展開の仕方などを積極的に捉えようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 レポート	レポート 授業プリント など
二学期	論理の展開を分析し、筆者の主張を捉える。 相手により伝わりやすい表現方法を工夫する。 ［教材］ 「ことばがつくる女と男」 「ポスト真実時代のジャーナリズム」 「社会をつくることば」 他	a：語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 b[読]：文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する。 ［話／聞]：話し言葉と書き言葉の違いを理解し、学習課題に沿って積極的に話し合おうとしている。 c：情報の整理と活用の仕方を工夫し、課題に沿って説明しようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 レポート	レポート スピーチ 授業プリント など
	議論の組み立て方を的確に捉え、筆者の主張を捉える。 ［教材］ 「〈私〉時代のデモクラシー」 「来るべき民主主義」 他	a：語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 b[読]：文章を分析的に読み、具体例を用いた論理の展開と、筆者の主張について理解する。 c：主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解し、より深く考えようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 レポート	レポート 授業プリント など
三学期	文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ［教材］ 「だれかの靴を履いてみること」 「開かれた文化」	a：語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 b[書]：自分の考えや事柄が的確に伝わるように、根拠の示し方や説明の仕方を工夫する。 c：文章に含まれている情報を相互に関連づけながら、内容と筆者の意図を理解した上で、自分の視点を相対化し、考え方の枠組みを広げようとしている。	定期考査 小テスト	定期考査 レポート	ワークシート レポート 授業プリント など

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　２０　）時間

・書くこと　…　（　３０　）時間

・読むこと　…　（　１０　）時間